



白山小学校学校運営協議会

はくざんコミュニティ・スクールだより



すくすく健康部会



麦踏みをしたよ!

令和8年1月26日発行 第8号



1月14日に、1年生が、少し大きくなった麦の苗を踏みました。最初に、サポーターの方から麦踏みのコツを聞いて、ゆっくり踏んでいきました。子どもたちは、麦踏みをするとう苗が丈夫になることを聞いて、「大きくなあれ」と口ずさみながら根っこの部分をしっかり踏んでいきました。春の収穫が楽しみです。



わくわく学習部会



世界の国を知ろう!



ブラジル



オーストラリア

4年生は、はくざんっ子学習「世界の文化を知ろう!」でゲストティーチャーを招いて「ブラジル」「アメリカ」「韓国」「カナダ」「オーストラリア」「ニュージーランド」の6つの国について教えてもらいました。子どもたちは、それぞれの国の文化や生活を知り、日本との違いに、驚いたり感心したりしながら興味深く聞き入っていました。そして、いろいろな国の文化や生活に興味を持つことで世界へ目を向ける貴重な時間になりました。



韓国



アメリカ



ニュージーランド



カナダ



ニュースポーツクラブ



ニュースポーツクラブでは、ユニカール協会の方々がサポーターとなってユニカールの指導をしてくれています。従来のスポーツとは違い、誰でも気軽にすぐ楽しむことができることを目的に新しく考案されアレンジされたスポーツです。子どもたちは、コツを教えてもらってだんだん上手になって楽しく練習できていました。試合形式では、歓声を上げて盛り上がっていました。





ハンセン病問題学習



1月16日に、5年生ははくざんっ子学習で大島青松園の職員4名の方を講師に迎えて、「ハンセン病問題学習」を行いました。最初に、大島青松園の入所者の方からオンラインでお話をお聞きし、苦しかった生活や差別や偏見に苦しんだことを知りました。また、職員の方からは、ハンセン病についてお話を聞き、「正しく知ること、うわさや見た目で決めつけないこと、相手の気持ちを考えること」が大切だと教えてもらいました。最後に、義肢装具士の方から、入所者さんのためにいろいろな工夫をされて使いやすくなっている装具を体験させてもらいました。子どもたちは、正しい知識で、差別や偏見を持たず人権を守る大切さを知りました。



私が話を聞いて分かったことは、ハンセン病にかかた人は感覚がない人が多いということです。いたみが分からないとケがをした所が分からないのでよく観察しないといけないことが分かりました。次に食べる時のそう具です。指が曲がるので手のひらにユ字の物を付けて食べるのが分かりました。付けてみて外れたりしなかつたので、食べやすいなと思いました。これからはうがいを理由人を遠ざけず、きずけないうちに正しく学ぶということを意識していきたいです。そう具を付けてくれたりたくさんの方の話を教えてくれてありがとうございました。

先日は、ハンセン病のことについて詳しく教えていただき、ありがとうございました。今日教えてくださったハンセン病のことについてたくさん分かったことがありました。一番大事にしたい、守りたいと思ったことは、正しく知ること、うわさや見た目で決めつけないこと、相手の気持ちを考えること。これを守るだけで、だれもきずけず、差別をなくすための第一歩になると、改めて気がつきました。これから差別はもうしないようにしたいです。

先日はハンセン病について詳しく教えていただき、ありがとうございました。里子村さんの経験で、様々なことが分かりました。入る決まりはあっても出る決まりは無く、死んでも出られないという話を聞いて、今までに勉強した内容に加えて、他にも色々なことが知れました。つらいこともあったけど、今では元ハンセン病患者の方々が元気にくらしていると思うといいです。今、ハンセン病のことを知ったので、変なうさも信じません。野村さんが教えてくれたことは、親に伝えました。もう誰も差別しないようにしたいです。

昔遊びを楽しもう

1月16日に1年生が老人会の方たちに昔の遊びを教えてもらいました。こま、竹とんぼ、竹馬、お手玉、けん玉、おはじき、あやとりの7つの遊びを体験しました。子どもたちはこの日をとても楽しみにしていて、老人会の方たちも、子どもたちとのふれあいを楽しみながら丁寧に教えてくれました。子どもたちは上手にできると自然と笑顔がこぼれていました。

